



R15 PHONO PREAMPLIFIER

User Guide

はじめに

この度は PRIMARE MM/MC フォノプリアンプ R15 をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本取扱説明書には、本機設置や操作について重要な情報が含まれています。本説明書をお読みの上、設置や操作の詳細について充分にご理解いただき、正しくご使用の上、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

開梱

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

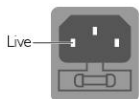
欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

本体	1台	検電器 (単4乾電池×2)	1個
電源ケーブル	1本	電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1個
Trigger ケーブル	1本	取扱説明書 (本紙)	1冊
保証書	1部		

【エージングについて】

本機がより良い状態に到達するために、最初に約 24 時間のエージングを行ってください。その後、少なくとも約 3 日間のエージングを経て、徐々に音質が向上していきます。

【検電器のご使用について】



本機には検電器が同梱されています。検電器が赤く点灯する側が、プラス (Hot, Live) になります。また本体リアパネルの IEC 電源コード差込口は、左のピンがプラスになります。接続するコンセントの電源の極性を確認の上、本機をご使用いただけます。

【ご注意】

検電器の電池を交換する際は、単4乾電池と交換してください。また古くなった乾電池は、環境に配慮し、お住まいの市町村の指示に従って適切に廃棄してください。

使用上の注意

本機の性能を十分に引き出し、また安全にご使用いただくため、以下の点にご注意ください。

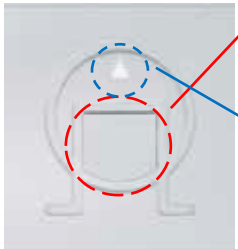
- ◆ 分解、改造等は絶対にしないでください。法律で罰せられる場合があります。また改造等により発生した不具合は、保証の対象外となります。
- ◆ 本体カバー及びリアパネルは絶対に取り外さないでください。感電の恐れがあります。またお客さまによる修理は大変危険ですので、絶対にお止めください。故障・不具合が疑われる場合は、お買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。
- ◆ 使用する際、暖房器具などラジエーターを搭載した機器と本機との間に 20cm 程度のスペースを確保してください。
- ◆ 適切な機器とのみ接続してください。機器との接続に疑問がある場合は、お買い上げいただいた販売店等にご相談ください。
- ◆ ラックやスタンドを使用する場合は、オーディオ機器対応の製品を使用してください。また機器を載せた状態でラックやスタンドを移動させる場合は、転倒しないようご注意ください。
- ◆ クリーニングする場合は乾いた柔らかい布で拭いてください。研磨剤・溶剤等の入った洗剤を使用しないでください。またクリーニングする場合は、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてください。
- ◆ 以下の場所には設置しないでください。火災や感電の恐れがあります。
 - ・火気、可燃物の近く
 - ・子どもの手の触れる場所
 - ・ベッド、ソファ、ラグ、カーペット等の柔らかい素材の上
 - ・本棚、物置き、キャビネット等の閉じた空間の中
 - ・キッチン、バスルーム、洗面所、プールサイド等、液体物の近く(水等の液体を近づけないでください)
 - ・ストーブ、ヒーター、暖炉、その他発熱する機器(アンプを含む)等、暖房器具の近く
 - ・直接日光/雨が当たる場所、風通しの悪い場所、埃の多い場所、極端に暑い場所、寒い場所、湿度の高い場所
- ◆ 本機に物を落としたり、液体物を噴霧したりしないようご注意ください。故障の原因になります。
- ◆ オーバーヒートを防ぐため、周囲に十分なスペース(最低 50mm)を確保してください。また本機の上に直接物を置かないでください。
- ◆ AC100V 以外の電圧では使用しないでください。また付属の電源ケーブルは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- ◆ 電源ケーブルは、結んだり、巻き付けたり、踏んだりしないようご注意ください。火災や感電の恐れがあります。また本体主電源 ON/スタンバイモードの場合も、本体には微量の電流が流れ込んでいます。落雷の恐れがある場合や長期間使用しない場合は、本体主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。
- ◆ ヒューズを交換する場合は、同じ定格のヒューズを使用してください。
- ◆ 寒い場所から暖かい場所に急に移動させると、内部で結露を起こします。移動させる場合は、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
- ◆ 煙が出ている、異臭がする、異音がする等の異常が確認された場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、必ず電源ケーブルを壁コンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の恐れがあります。速やかにお買い上げいただいた販売店に修理を依頼してください。

※その他の注意事項は別紙「お取り扱いについて」をご参照ください。

各部説明

フロントパネル



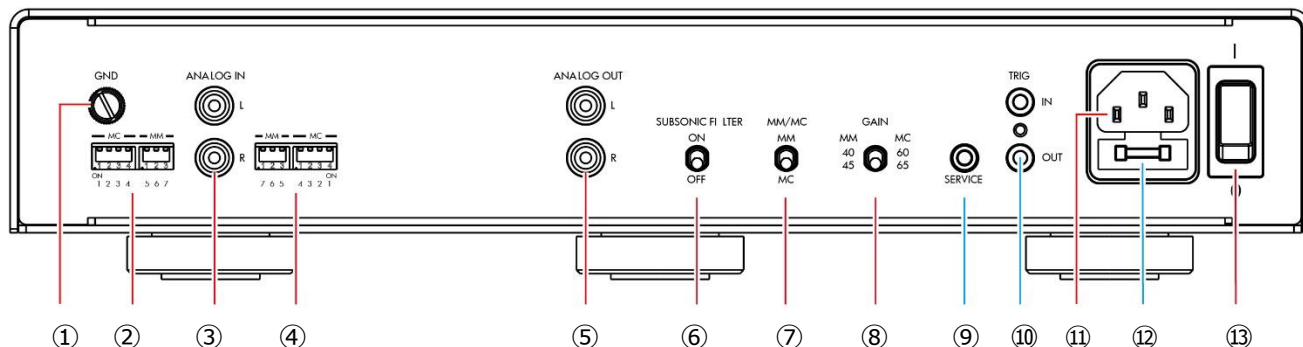
①	Stand-by 	Stand by/Onの切替 リアパネルの ③ POWER ON/OFF ボタンを ON にし、フロントパネル中心部にあるロゴマーク内のスタンバイ・スイッチ (左図の赤線部分) を押してください。スイッチを入れると <u>LED が何秒間か点滅し、リレー音と共に点滅が止まった後、電源が ON になります。</u> スタンバイ・インジケータは、スタンバイ/駆動状態が表示されます(左図の青線部分)。 <ul style="list-style-type: none">• スタンバイモード時には<u>暗く</u>点灯します。• 駆動時には<u>明るく</u>点灯します。
---	---	---

- ・本機は入力信号が 20 分間無い場合、自動的に電源 On→スタンバイ状態に移行する、オート・スタンバイ機能があります (デフォルトで有効 / ※P5「オート・スタンバイ機能」参照)。

各部説明

リアパネル

※図中の番号は下記の説明文の番号を表しています。



①	GND	トーンアーム用アース端子。
②	MM/MC 入力 - 負荷抵抗・負荷容量 設定ディップスイッチ ※R (右) ch	R (右) ch 側の、RCA アンバランス入力の、負荷抵抗及び負荷容量を設定します(1~4:MC 側。5~7:MM 側。P6 を参照)。
③	ANALOG IN	RCA アンバランス入力端子。本機とターンテーブルをトーンアームケーブル (RCA) で接続してください。
④	MM/MC 入力 - 負荷抵抗・負荷容量 設定ディップスイッチ ※L (左) ch	L (左) ch 側の、RCA アンバランス入力の、負荷抵抗及び負荷容量を設定します。 ※②参照
⑤	ANALOG OUT (RCA)	RCA アンバランス出力端子。本機とプリアンプまたはインテグレートッドアンプを RCA アンバランスケーブルで接続してください。
⑥	SUBSONIC FILTER	サブソニックフィルタースイッチ。On にすると、トーンアームの共振や、レコードのそりにより発生する不要な超低域をカットします。
⑦	MM/MC	MM/MC 切替スイッチ。接続するカートリッジ (MM or MC) に応じてスイッチを切り替えます。
⑧	MM/MC GAIN	MM/MC ゲイン切替スイッチ。接続するカートリッジ (MM or MC) に応じてゲインを切り替えます。 ●MM GAIN: ・RCA - 40, 45 dB ●MC GAIN: ・RCA - 60, 65 dB
⑨	SERVICE	修理調整用 設定端子。 ※注意!! : 通常使用しません。触れないでください。
⑩	TRIGGER IN/OUT	本機を PRIMARE のアンプ等と接続して、電源/ON スタンバイモード操作を接続した機器と連動して行うための端子です。IN 側で電源/ON スタンバイモード操作を行うと、OUT 側が連動します。付属の Trigger ケーブルを使用して接続します。
⑪	AC INPUT	IEC 電源コード差込口
⑫	AC FUSE HOLDER	ヒューズホルダー
⑬	POWER ON/OFF	本体主電源の ON/OFF を行います。

使用方法

■ 設置・接続方法

- (1) 本体を平らな場所に設置します。
- (2) **P6**を参照して、電源を投入する前に、接続するカートリッジに合わせた**負荷抵抗・負荷容量の設定**を行って下さい。
- (3) 付属の電源ケーブルを、リアパネルの電源コード差込口 (㉑) に挿入してください。
その後、壁面の電源コンセントに接続します。
- (4) リアパネルの㉑「POWER ON/OFF (本体主電源) スイッチ」を ON にします。
- (5) フロントパネルのスタンバイインジケータが点灯します。
 - スタンバイ時には**暗く**点灯します。
 - 電源 ON 時には**明るく**点灯します。

【ご注意】

長期間使用しない場合は、㉑「POWER ON/OFF (本体主電源) スイッチ」を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。
またケーブル接続を変更する場合も、主電源を OFF にして、電源ケーブルを抜いてください。

■ 起動方法 (スタンバイ→電源 On)

本体を主電源が ON (スタンバイモード) の状態で、リアパネルの ㉑「POWER ON/OFF (本体主電源) スイッチ」を ON にし、フロントパネル中心部にあるロゴマーク内のスイッチを押してください。スイッチを入れると **LED が何秒間か点滅し、リレー音と共に点滅が止まった後、電源が ON 状態になります。**

- スタンバイインジケータは、スタンバイ/電源 ON 状態が表示されます
 - スタンバイモード時には**暗く**点灯します。
 - 電源 ON 時には**明るく**点灯します。

■ カートリッジ/ターンテーブル接続方法

MM もしくは MC カートリッジを取り付けたターンテーブルのトーンアームケーブルを、㉓「ANALOG IN-RCA アンバランス入力端子」に接続します。また、アースケーブルを㉔「GND-トーンアーム用アース端子」に接続します。

■ プリアンプ/インテグレートッドアンプ接続方法

本機の㉕「ANALOG OUT (RCA) RCA アンバランス出力端子」を、プリアンプまたはインテグレートッドアンプの入力端子と接続します。RCA アンバランスケーブルで接続してください。

■ オート・スタンバイ機能

本機は入力信号が 20 分間無い場合、自動的に電源 On→スタンバイ状態に移行する、オート・スタンバイ機能があります (デフォルトで有効)。この機能を無効にするには、フロントパネルのスタンバイ・スイッチを数秒間押し続けます。スタンバイ・インジケータが 2 回点滅→点灯に切り替わると、オート・スタンバイ機能が無効になります。スタンバイ時、駆動時いずれの場合でも行えます。

再度、オート・スタンバイ機能を有効にするには、リアパネルの㉑「POWER ON/OFF (本体主電源) スイッチ」を切り、主電源を OFF にします。

注意:使用する MC カートリッジの電圧によっては、再生中でも 20 分経過後にオート・スタンバイ機能が働く場合があります。その場合、オート・スタンバイ機能を Off にしてください。

■ 負荷抵抗・負荷容量の設定

本機は使用する MM/MC カートリッジに応じて、負荷抵抗・負荷容量を設定できます。

●負荷抵抗

MM : 2.5, 47kΩ

MC : 30, 50, 75, 100, 200, 500Ω

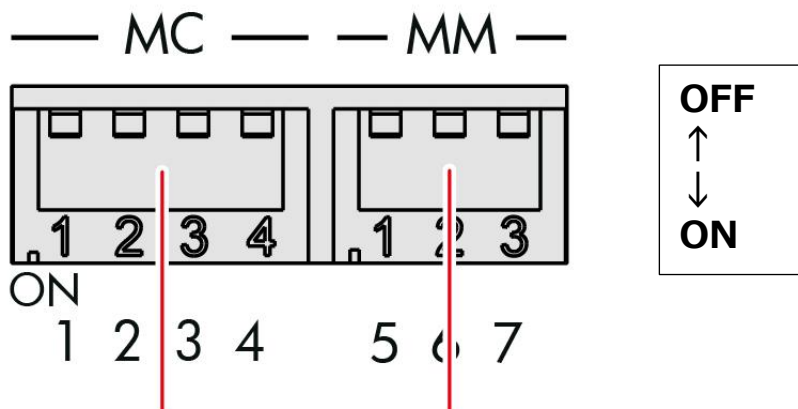
●負荷容量

MM : 100, 200, 300, 400pF

MC : 100pF, 1nF (1000pF)

使用するカートリッジ (MM もしくは MC) に応じてリアパネルの⑦「MM/MC 切替スイッチ」を切り替えます。また、②/④「MM/MC 負荷抵抗・負荷容量 設定ディップスイッチ L/R」を使用するカートリッジの特性に応じて切り替えます (上=OFF / 下=ON)。

※負荷抵抗・負荷容量の設定する値は、使用するカートリッジの取扱説明書をご参照ください。



<p>■MCカートリッジ設定</p> <p>1~3 : 負荷抵抗設定</p> <p>4: 負荷容量設定</p> <p>※⑦MM/MC切替スイッチを「MC」にセットした場合に値が反映されます。</p>	<p>■MMカートリッジ設定</p> <p>5: 負荷抵抗設定</p> <p>6, 7 : 負荷容量設定</p> <p>※⑦MM/MC切替スイッチを「MM」にセットした場合に値が反映されます。</p>
---	--

(1) MM カートリッジ

⑦MM/MC切替スイッチを「MM」にセットします。使用するカートリッジの特性に応じて以下の表を参考に、スイッチ5~7のディップスイッチを切り替えて、負荷抵抗・入力容量を設定します。

※負荷抵抗・負荷容量の設定する値は、使用するカートリッジの取扱説明書をご参照ください。

負荷抵抗		負荷容量	
Switch 5		Switch 6	7
47kΩ	OFF	100pF	OFF
2.5kΩ	ON	200pF	ON
		300pF	OFF
		400pF	ON

(2) MCカートリッジ

⑦MM/MC切替スイッチを「MC」にセットします。使用するカートリッジの特性に応じて以下の表を参考に、スイッチ1~4のディップスイッチを切り替えて、負荷抵抗・負荷容量を設定します。

※負荷抵抗・負荷容量の設定する値は、使用するカートリッジの取扱説明書をご参照ください。

負荷抵抗				負荷容量	
Switch 1	2	3	Switch 4		
30Ω	ON	ON	100pF	OFF	
50Ω	OFF	OFF	1nF	ON	
75Ω	ON	ON			
100Ω	OFF	ON			
200Ω	ON	OFF			
500Ω	OFF	OFF			

トラブルシューティング

不具合が疑われる場合は、まずは全ての接続をご確認ください。また本機以外の原因も考えられますので、接続した機器の使用方法もあわせてご確認ください。下記は、一般的な問題症状と考えられる解決策になります。下記対策後も動作に変化が見られない場合は、お買い上げいただいた販売店または株式会社ナスパックまでお問い合わせください。

症状	原因	対策
1.電源が入らない。	電源ケーブルが正しく接続されていない。	電源ケーブルを奥までしっかり差し込んでください。
	本体主電源が OFF になっている。	本体主電源を ON にしてください。
	スタンバイモードになっている。	主電源が ON の状態で、フロントパネルのスタンバイ・スイッチを押してスタンバイモードから、電源 ON 状態に切り替えます。
2.両チャンネルもしくは片チャンネルから音がでない。	オーディオ信号が正しく入力/出力されていない。	ターンテーブル→本機もしくは本機→アンプへのケーブルの接続の再確認をして下さい。正しく接続されている場合、ケーブルに異常が無いかチェックして下さい。
3.出力される音が小さい/大きい。または、音に異常がある。	負荷抵抗・負荷容量設定が間違っている。	使用するカートリッジに適した設定を行なって下さい。
4.出力される音が片 ch のみ小さい/大きい。または、音に異常がある。	L/R ch の負荷抵抗・負荷容量設定が揃っていない。	両 ch とも使用するカートリッジに適した設定を行なって下さい。
4.「ブーン」というハム音が出る。	適切にアースが取れていない。	アース線がターンテーブルと本機の GND 端子に接続されているか、各ケーブルのプラグが確実に接続されているかチェックして下さい。

Specifications

S/N 比	MM : 83dB, 1kHz A-weighted 5mV 入力ゲイン MC : 74dB, 1kHz A-weighted 0.5mV 入力ゲイン
THD+N	MM : <0.02% (20Hz - 20kHz) MC : <0.03% (20Hz - 20kHz)
入力系統	アンバランス RCA × 1
出力系統	アンバランス RCA × 1
出カインピーダンス	RCA : 100Ω
最大出力レベル	11V rms
ゲイン設定	(MM) 40, 45 dB@1kHz / (MC) 60, 65dB@1kHz
負荷抵抗	(MM) 2.5, 47KΩ / (MC) 30 - 500Ω (6段階)
負荷容量	(MM) 100, 200, 300, 400pF / (MC) 100pF, 1nF
チャンネルセパレーション	(MM) 80dB, 1kHz / (MC) 77dB, 1kHz
コントロール端子	Trigger 入出力
サブソニックフィルター	-3dB/12Hz, 12dB/Octave
RIAA 補正	± 0.2dB
消費電力	スタンバイ時 0.5W / アクティブ時 <20W
サイズ	W350 × H73 × D310 mm
重量	7.0 kg

PRIMARE は、常により洗練されたデザイン・設計を目指し、製品の改善に努めています。
そのためデザイン、性能等、事前の予告なしに変更される場合がございます。
また本製品の輸送に必要な購入時の箱は、必ず保管しておいてください。

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

詳しくは、株式会社ナスペックの HP/サポートページ(<http://naspecaudio.com/support/>)をご確認ください。


修理の際は、販売店または株式会社ナスペックにお問い合わせください。

※修理についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **PRIMARE 日本輸入総代理店 株式会社ナスペック**まで



株式会社ナスペック
〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5
HP : <http://naspecaudio.com>

TEL : 058-215-7510
FAX : 058-268-7118
 : 0120-932-455
E-mail : support@naspecaudio.com

2020.5.24 (Ver 1.01)